



第3回 丹波市立農の学校検証委員会 資料

＜今後の方向性・スキームの整理＞

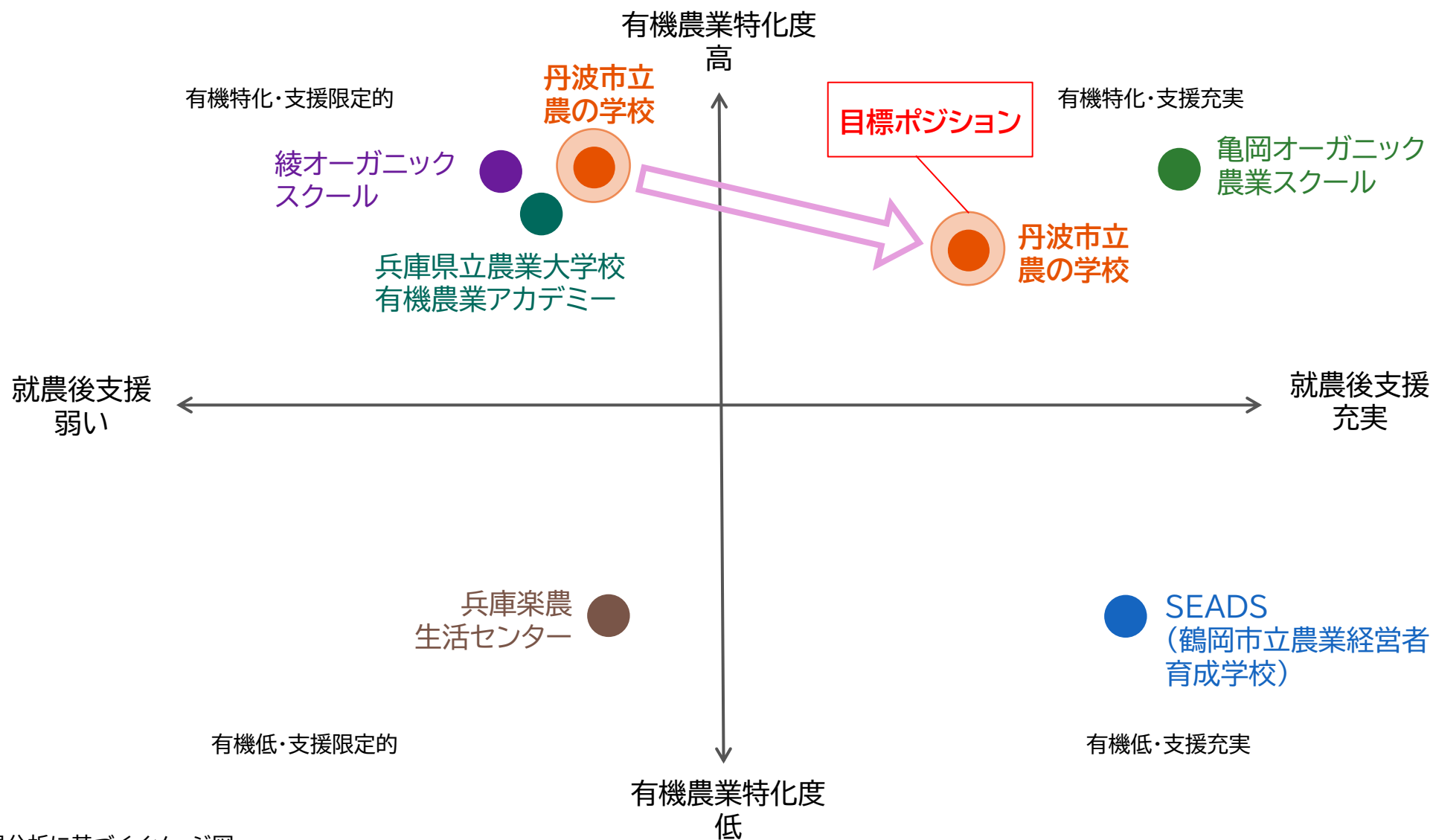
令和8年6月29日(月)



1. 検証委員会開催スケジュール

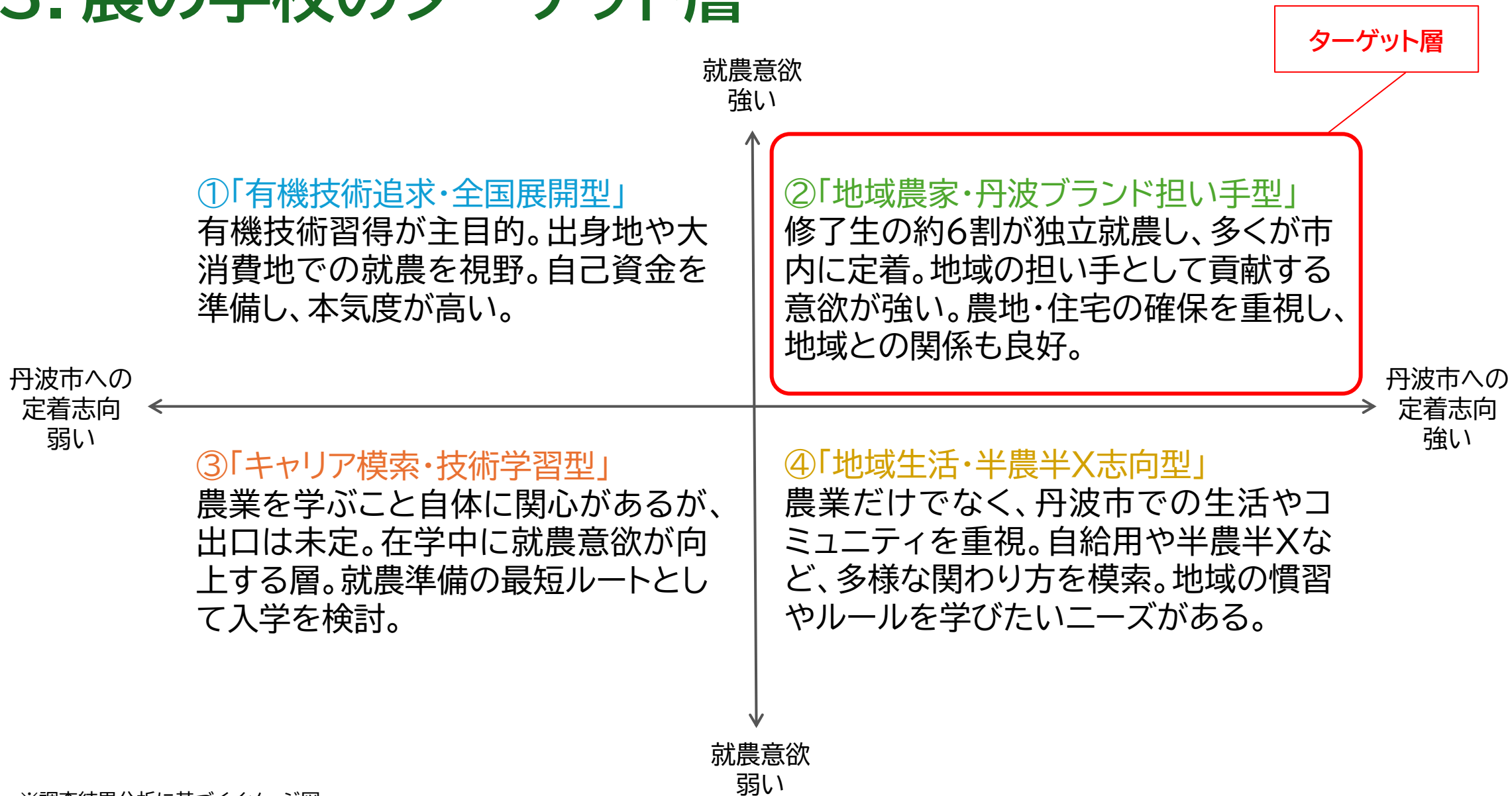
回	時期	主な検討内容(予定)
第1回	2月4日(水)	検証の目的、スケジュール等の説明 調査内容の検討・決定
第2回	5月22日(金)	調査分析結果の検証 課題・今後の方向性・スキームの整理
第3回	6月29日(月)	今後の方向性・スキームの整理
第4回	7月	今後の方向性・スキームの決定 報告書の検討
第5回	8月	報告書の検討

2. 農の学校が目指すポジション



※調査結果分析に基づくイメージ図

3. 農の学校のターゲット層



※調査結果分析に基づくイメージ図

4. 農の学校のこれからのコンセプト(強み)

農業経営の実践力と有機農業の専門性を兼ね備えた担い手を育成する学校

1

実践的な農業経営教育

栽培技術だけでなく、販路開拓・資金繰り・営農計画まで一貫して学ぶカリキュラム。多様な営農類型の経営モデルから、自分の目指す農業を主体的に設計できる力を育てる。

2

有機農業を軸とした多角的な栽培実習

農業の原理原則を学ぶことを目的に有機栽培を軸としつつ、慣行栽培の知見も取り入れた幅広い営農知識を提供。野菜のほか、水稻や丹波市の特産物まで幅広い品目を取り扱う。

3

地域とつながる農業者への育成

地域コミュニティ(自治会・農会・農業委員会等)との交流や、農村文化を学ぶカリキュラムなどを通じて、就農後も丹波市に定着し、深く根差していく人材を輩出する。